

2026年3月17日

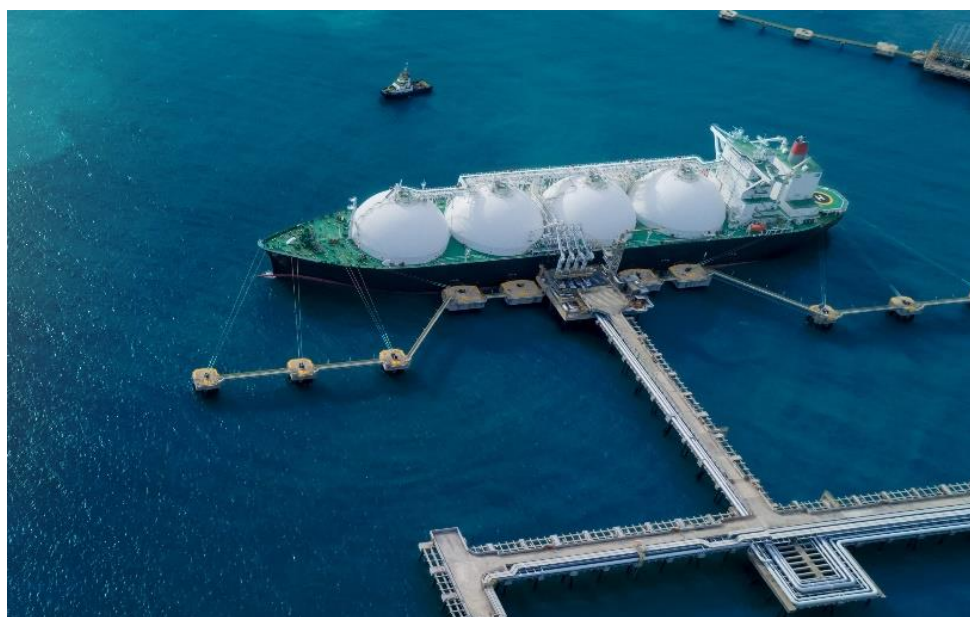
各 位

会社名 出光興産株式会社
代表者名 代表取締役社長 酒井 則明
(コード番号:5019 東証プライム市場)
問合せ先 財務部 IR室長 佐々木真光
(TEL:03 - 3213 - 9307)

LNG 事業への本格参入に向け MidOcean Energy へ出資を決定
～戦略的パートナーシップを通じて、成長分野での事業機会の獲得へ～

出光興産株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:酒井則明、以下「当社」)は、世界有数のエネルギー・インフラ分野における機関投資会社である EIG(本社:米国)が設立および運営する液化天然ガス(LNG: Liquefied Natural Gas)事業会社 MidOcean Energy(本社:英国)に対し、5億米ドルの出資を行うことを本日決定しました。

本出資は、当社が LNG 事業に本格的に参入するための第一歩です。MidOcean Energy とのパートナーシップを通じて LNG 分野における事業機会の獲得を目指し、今後、エネルギーのさらなる安定供給に取り組んでまいります。なお、本出資に関する契約締結は 2026 年 3 月中を予定しています。



画像提供: MidOcean Energy

MidOcean Energy は、オーストラリア、カナダ、南米など複数地域の LNG プロジェクトへの参画実績を有し、コスト競争力と炭素排出削減の両立を可能とするポートフォリオの構築を進めています。また、LNG 業界で豊富な経験を持つ経営陣が、エネルギートランジションを見据えた成長戦略を推進しています。

当社は、ベトナムでのガス田開発事業や、北米におけるデータセンターに併設されるガス発電所向けの天然ガス供給事業を展開しています。こうした事業基盤を生かしながら、LNG 分野において高い専門性を持つ MidOcean Energy との戦略的パートナーシップを通じて LNG 市場への参入機会の獲得を追求します。なお、本出資は、競争法上必要となる許認可取得が前提となります。

LNG は石油や石炭と比べ燃焼時の CO₂排出量が少なく、低炭素・脱炭素社会への移行期において、環境負荷低減とエネルギーの安定供給を両立するエネルギーとして、重要性が世界的に高まっています。また、LNG は供給地域が地理的に分散しており、調達先の多様化が可能であることから、地政学的リスクの低減やエネルギー安全保障の観点でも戦略的価値が高いエネルギーです。さらに、アジアでは、人口増加や経済成長を背景に発電・産業用途での需要拡大が続いています。当社はこうした市場環境を踏まえ、LNG を中長期的な成長分野と位置付けています。

当社は今後も、パートナーとの共創を通じて中長期的な成長を着実に推進し、企業価値の向上を図るとともに、持続可能なエネルギー社会の実現に貢献してまいります。

【参考】

EIG Global Energy Partners 概要

EIG は、グローバルなエネルギーおよびインフラ分野に特化した世界有数の機関投資会社であり、2025年12月31日時点の運用資産残高は254億米ドルに達しています。43年にわたり、6大陸44カ国において、425件のエネルギーセクターのプロジェクトあるいは企業に対し累計534億米ドル超の投資を行ってきました。EIG の顧客には、米国、アジアおよび欧州における主要な年金基金、保険会社、大学基金、財団、ならびにソブリン・ウェルス・ファンド(国家または政府が保有・運用する投資ファンド)が含まれています。米国ワシントン D.C.に本社を置き、ヒューストン、ロンドン、シドニー、リオデジャネイロ、香港、ソウルに拠点を展開しています。

URL: www.eigpartners.com

MidOcean Energy 概要

EIG が設立・運営する LNG 事業会社である MidOcean Energy は、多様かつコスト競争力と炭素排出削減の両立を可能とするグローバルな LNG ポートフォリオの構築を目指しています。これは、LNG が他の化石燃料と比較して低炭素かつ競争力が高く、世界的なエネルギーシステムにおいてより重要であるとする EIG の考えを反映したものです。MidOcean Energy は LNG Canada、Gorgon LNG、Pluto LNG、QCLNG、Peru LNG をはじめとする複数の LNG プロジェクトへの参画実績を有しており、エネルギー業界において27年にわたり要職を歴任してきた De la Rey Venter 氏が率いています。

URL: www.midoceanenergy.com